



2022年3月議会

田中しんのすけの 一般質問

公立幼稚園での
「一時預かり事業」実施
について再び問う。

現在の伊予市は、国からの補助金である「子ども子育て支援交付金」について、子育て支援課はこの補助金を取得しているが、学校教育課は取得していない。そのため、子育て支援課の担当である認定こども園・保育所・私立幼稚園に通わせている保護者は、その補助金の恩恵を受けて一時預かり事業を実施できている。しかし、学校教育課の担当である公立幼稚園に通わせている保護者は、その恩恵を受けることができていない。

同じ伊予市の住民で、同じ年の子を持つ保護者で、担当している課によって国からの補助金が流れるところと流れないところがある。この状態の解消は、前向きに検討するべきと考える。また、学校教育課でもこの補助金を活用すれば、公立幼稚園での一時預かり事業の実施も可能と考えるが、どうか。



教育委員会
事務局 長 答 弁

市立幼稚園での一時預かり事業 令和5年度の実施を目指す！

国の補助金を活用するためには、国の「一時預かり事業実施要綱」における職員の配置基準を充たす必要がある。この配置基準では、常に2名以上で行う必要があり、そのうち1/2以上は保育士又は幼稚園教諭普通免許状所有者が必要となる。本市の現在の一時預かり事業では、当該幼稚園の職員1名が担当しており、残念ながら国の基準を充たしていないことから、補助金を活用できる体制になっていない。

しかし、「子どもたちは伊予市の未来に繋がる宝物」であり、誰もが安心して子育てできる環境を整備し、子育て世代が市内で子育てしたいと思うまちづくりを実現するため、**令和5年度から国の配置基準を充たせるような人員配置とし、国の補助金を活用して幼稚園型の一時的預かり事業の実施を目指す。**

一時預かり事業ってなに？

一時預かり事業とは、保護者が出産、病気、冠婚葬祭、通院、習い事、ショッピング、美容院、育児による心理的・身体的負担等の様々な理由により、一時的に家庭で子供の保育が困難になった場合に、保育所やその他の場所で一時的に短時間、子どもを預かるものです。一日中小さな子どもと過ごし続けるお母さんや保護者の方の負担を軽減して、万が一にも虐待などに繋がらないように、そして近年増加しつつある母親の「孤育て」の助けとなる大切な事業の一つです。

第4回 ゴリラに学べ



新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、私はサラリーマンを辞めて政治の道に進むことを決めました。決断の時期が遅かったこともあり、ご迷惑をおかけした方が多くいたのですが、政治の道に進んで本当に良かったと思っています。一つ一つの決断が、伊予市の未来に対して責任を負う。その重みと怖さ。今後も、その重みと怖さと戦いながら、伊予市の未来のために決断を続けていきたいと思っています。さて、国内では未だコロナ対策が終息していないのに、世界ではロシアがウクライナに侵攻するという信じられない事件が起こりました。戦争の際には、必ず「正義は我にあり」と当事国は主張しますが、戦争に正義が存在しないことは過去の歴史を見れば明らかです。それにも関わらず、まだ「戦争」という手段を選ぶ為政者が存在することに、怒りを禁じ得ません。

伊豫岡八幡宮
にある絵馬



伊予市議会も、『ロシアによる軍事侵攻に関し平和的解決を求める決議』が、全会一致で可決されました。伊豫岡八幡神社にある絵馬には、砲弾が飛び交う激しい戦場であって、赤十字の腕章をつけた救護兵たちが負傷したロシア将校を救護する様子が描かれています。これは、日露戦争から帰還した下吾川地区の農村兵士たちが、ロシア負傷兵に対して人類愛を貫いていたことを後世に語りかけているものです。これを通して、平和と友好の絆は脈々と受け継がれていることを鑑みると、今回の事案は伊予市民として到底受け入れられるものではありません。

やまざわ

ゴリラ研究の第一人者である山極壽一氏(第26代京都大学総長)は、その著書やインタビュー等で、よく「人間はゴリラに学べ」と言っています。

サルが強者と弱者を作り階層性を重んじるのに対して、ゴリラは対等性を重んじるそうです。ケンカを収める際にも、サルは強い者が勝つことで収まりますが、ゴリラはお互いの顔をのぞき込み合ったり、第三者が間に入ったりして和解を目指すそうです。とても興味深いです。

アエラ

また、2018年3月16日のAERAのインタビューで、以下のように応えています。

力で平和を維持しようというのは、大きな間違い。私がゴリラや類人猿から学んできたのは「勝てば勝つほど孤独になっていく」ということです。相手は、自分に対してへつらってくれるけど、尊敬してくれているわけではありません。常に力を行使していないと自分の権力が守れない。そういう社会は、非常にギスギスして生きづらい。それは、平等より勝ち負けを優先するサルの社会に非常に似ています。現代の人間社会は、サル化し、自分の利益のために集団をつくるサル社会に突き進んでいるように私には見えます。

4年前に山極氏が危惧した通り、人間社会はサル社会にどんどん進んでしまい、再び過去と同じ過ちを繰り返しています。ゴリラも人間も、祖先は共通のはず。なぜ、ゴリラは平和的に、人間は暴力的になってしまったのでしょうか。まさに、「人間はゴリラに学べ」です。